

2026年1月

北海道教育科学研究会 事務局から

北海道教育科学研究会事務局では、以下のような企画をしています。ぜひご一緒に学び、考えてみませんか。

北海道教育科学研究会 第143回研究会

テーマ：民間による公教育への進出の動向を捉える視座 —今後のさらなる人口減少と官民連携を見据えて—



＜本研究会の趣旨＞

報告者の高嶋さんは『教育』（2025年12月号、旬刊社）に「教育系NPOによる公教育への進出に対する公共性の要請」という論文を書かれました。そこでは、問題意識として、教育系NPOを含む民間の存在を前提とした可能性と危険性の所在を見極めることで、次の公教育の形態の模索を進めていく必要があるということを指摘しています。一例として、高校での「居場所カフェ」の実践が紹介されています。

今回の研究会では、抽象的な議論に加えて、具体的な実践事例を踏まえながら、本論文では書き切れなかった視点を含めて、報告をしていただきます。そして、議論を経て、参加者の方と対話をしながら、深めていきます。

- 1 報告者：高嶋 真之（北海道：藤女子大学・准教授。専門：教育行政学・学校外教育）
- 2 日 時：2026年2月28日（土）10:00～12:00（頃）
- 3 参加形態：zoom
- 4 申込：参加可能な方は、以下のグーグルフォーム（QRコードかURL）に、入力をお願いします。締め切りは、2月26日（木）23:59です。



<https://forms.gle/MZoge6hC74ZgyZ2Y8>

2月27日（金）夜か28日（土）に、zoomの接続先を電子メールでお知らせします。

事務局：徳長 誠一（道立高校教員）、井上 大樹（札幌学院大学）

北海道教育科学研究会 電子メールアドレス hokkaidokyaken@gmail.com

★「教育科学研究会」（略称・教科研）は、教育の現場（学校や園、家庭や地域）で起こっている現実を見すえながら、子どもの未来と教育のあり方について、教職員、保護者、指導者、学生、研究者などが共に考えあい、実践・研究しあう団体です。<https://kyoukaken.jp/>